

**一般国道45号全線開通35周年パネル展開催  
～7月14日から「キャトル宮古」において～**

三陸国道事務所では、一般国道45号の全線一次改築完了35周年を記念して、宮古駅前の商業施設「キャトル宮古」において、7月14日（土）から8月5日（日）まで、一般国道45号の歴史を振り返るパネルを展示します。

**一般国道45号とは**

宮城県仙台市から青森県青森市を結ぶ道路です。このうち岩手県内の区間を三陸国道事務所が改築工事・維持管理を担当しています。

**「全線一次改築完了」とは**

現在の一般国道45号は、昭和38年（1963年）から国の直轄事業として改築事業が行われ、昭和47年（1972年）に全線一次改築が完了しました。10月15日に、「国道45号全線開通」として、開通を祝うパレードや記念祝典が行われました。

**パネルは**

普段、何気なく利用している一般国道45号が、三陸沿岸地域を結ぶ大切な道路であることを皆さんに知っていただくために展示するものです。三陸沿岸地域の道路の歴史や、現在の道路の状況などをパネルでお知らせいたします。

**展示する場所は**

宮古駅前にある商業施設「キャトル宮古」の2階、宮古駅連絡通路出入口付近にある「みやこ・みち情報コーナー『Mi-Mi SOPT(ミミスポット)』」です。このコーナーは、三陸国道事務所の事業を宮古市の皆さんや、訪れた観光客に知っていただくためのコーナーです。（下図参照）



発表記者会：宮古記者クラブ

**問い合わせ先**

国土交通省 東北地方整備局 三陸国道事務所  
TEL0193-62-1711

副所長 ぶんや やすお 文屋 泰雄 (内線204)